

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS蟹江校			
○保護者評価実施期間	7 年 2 月 10 日 ～ 7 年 3 月 9 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29		13
○従業者評価実施期間	7 年 3 月 15 日 ～ 7 年 3 月 25 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	7 年 3 月 26 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちがとにかく楽しく通ってくれていること。	子どもたちの気持ちを引き出し、「楽しい」と思ってもらえることにまず重点を置き、支援すること。	子どもたちについてより理解を深められるよう、支援方法の検討を日々積極的に行っていく。
2	保護者様との信頼関係を大切にし、子どもの成長を共有できている。寄り添った支援ができるよう職員一同意識していること。	支援の中で気付いたことを記録に残し、保護者様に丁寧に報告し、個々に合った支援を提供できるようにしていく。	より多くの保護者様との連携、関係を密にするよう努める。保護者様からの要望を柔軟に取り入れ、最適な支援を提供できるように工夫する。
3	風通しの良い職場作り。従業員間で、意見や問題点を言いやすいようにしていること。	朝礼や終礼時等で、気になったことを積極的に発信をし合い、問題点をそのままにせず、検討を重ねた上で改善を行っている。	開所から2年経ち、より安定してサービスを提供できるよう、職員同士話し合いを大切にしていく。今後も引き続き、事故を未然に防ぐための環境整備、療育の質の向上を徹底していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所して2年以上経っているため、徐々に教具が劣化してきている。	開所して2年以上経っているため、徐々に教具が劣化してきている。	教具のメンテナンスや強化、買い替えを順次行っていく。
2	子どもたちのやりたい事に、部屋が適していない時がある。	天井が低い場合、ボール系のトレーニングに制約がある。人数が多いと狭く感じる。	その時々メンバーに応じて工夫していく。
3	訓練や研修の実施内容等、取り組みの発信が不十分である。	実施内容について十分発信できていない。	S.I.C.KIDS蟹江校を知ってもらうためにも、積極的に取り組みをインスタや事業所掲示板等で発信する。

事業所名 S.I.C.KIDS蟹江校

公表日 7 年 3 月 31 日

利用児童数 29

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		お子様の状態、特性に合わせて配置を工夫して対応しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1		児童指導員、保育士を適切に配置しております。専門性は日々の業務を通じて、また研修で養い支援して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	1	0		適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	0	0		掃除、消毒、換気を日々気を付けて行い。心地よく過ごせる空間づくりを意識して作っております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0		アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		プログラムについてはインターネット上に公表させていただいております。ご疑問、ご質問などありましたら、お気軽にお尋ねください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		まだ体制が整っていないところもございますが、試行錯誤しながらより良い支援ができるようにしていきたいと考えております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		作成された個別支援計画を踏まえてプログラムを立てております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	1		固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次の案を話し合っております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	2	10	地域が遠いため	地域のコミュニティへ参加し、お祭りなどで交流する機会を今後も作って参ります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	1	0		今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		保護者様へ支援開始前に狙い及び支援内容を説明し、同意を得ております
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	0	4		保護者様同士、繋がりを持っていただけるよう、座談会の開催を年に2回以上行っております。また今年度からは、ペアレントトレーニングの提供も始めております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	0	0		保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで行えるよう支援に努めております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		お子様や保護者様のお悩みやお困り事をお聞きし、その内容を支援に活かせるようにして参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	0	3		保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1		お子様や保護者様から相談や申し入れがあった際は、その都度、迅速に対応して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		それぞれに応じた方法で、情報伝達に日々配慮して行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	4		公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	2		個人情報の取り扱いには引き続き十分注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	0	0	6		マニュアルを保護者様に周知、説明してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	10		今後も半年に一度程度、定期的な避難訓練を実施してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		訓練を実施する際、事前に周知する等、努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	3	事故がないため	事故や怪我が発生した際には、速やかに連絡し、その後、状況や対処等、しっかりと説明しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		今後も安心感をもって通っていただけるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0		今後も楽しく通っていただけるよう日々努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		今後も皆様に満足していただけるよう支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
S.I.CKIDS蟹江校		7 年 3 月 31 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		お子様同士がぶつかったり、避けようとしてリスクが高まらないよう配慮しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童指導員、保育士を適切に配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	適切な構造化を行い、お子さまが集中しやすい空間づくりを基本として参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		掃除、消毒、換気を日々気付けて行い。心地よく過ごせる空間づくりを意識して作っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンの際など、必要に応じてマットなどを立てて個別の空間を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		日々ミーティングを行い、目標設定と振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		結果をミーティングで全員が共有し、改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々ミーティングを行い、職員の意見を共有、振り返りを行うとともに、三か月に一度個別相談の機会を設け、風通しの良い職場環境の維持・改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		社内や外部研修を活用し、定期的な機会を確保しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		S.I.C.KIDS公式ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		アセスメントシートを利用し、ニーズや課題を客観的に分析したうえで作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		作成したものには、全職員が目を通した上で、支援会議にて検討しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		作成された個別支援計画を踏まえて、日々のプログラムを立てております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		支援中は常にこども達の行動状況を観察しています。記録にこども達の様子等を毎回記載し、カンファレンスで共有。変化があるか再度観察と確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえたうえで適切に選択し、具体的な支援を設定してまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		立案したプログラムをミーティングにて検討し、ブラッシュアップしております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		固定化しないよう、毎回終礼で報告し、次の案を話し合っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動に適應できるよう、それぞれのお子様の状態を見ながら関わりが持てるよう適宜配慮に努めております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日の支援開始前に、職員間で必ず打ち合わせを行い、確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼の際、必ず振り返りを行い、共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個別のファイルに記録し、振り返りと改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月ごとにモニタリングを行い、支援計画について見直しを行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		サービス担当者会議には児発管が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		医療機関、保険センター、社会福祉協議会等の担当者と連絡を取り合い、必要に応じて連携する体制を整えております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		園との情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		学校との情報共有、連携は、保護者様の意向をくみつつ、実施に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	1	児発管が参画し、連携につとめております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		学童のイベントへの参加、地域の子育て支援団体のイベントへの招待など、これからも行える体制を整えて参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎回、支援後に時間をかけ、保護者様と話し合い、共通理解をつくれるよう努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	座談会にてお子様との接し方、疑問にお答えしていく等、家族支援を定期的に行っていく予定であります。またペアレントトレーニングも実施して参ります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		今後も丁寧な説明を心がけてまいります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的なモニタリングやこども達の普段の様子を基に、保護者の方と確認を取りながら作成に努めております。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		契約時に支援内容を説明し、同意を得ております。今後もわかりやすく説明できるよう意識してまいります。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様との面倒や助言など、要望に応じて、また必要性が高い場合は進んで声掛けするよう努めております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者様同士の繋がりが持ちやすくなるよう、定期的な座談会、交流会の開催を予定しております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		お子様や保護者様から相談や申し入れがあった際は、その都度、迅速に対応して参ります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式ライン、インスタ等のSNSを活用し、今後も発信してまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		書類などは鍵付き書庫にて保管しております。パソコン等はパスワードを設定しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		それぞれの方に合わせた伝達方法を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		現在は開催できておりません。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを掲示し、保護者様に周知してまいります。訓練についても実施報告を周知してまいります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		今後も定期的な避難訓練を実施してまいります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		事前にお子様の状況については確認して支援を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者様へ確認し、都度、アセスメントシートに記載していただく対応をとっております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		毎月重点的に点検をする箇所や、重大事故に対するマニュアルを作成、研修や訓練を行い、安全管理を徹底しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に保護者の方に説明をするとともに、ご家族の緊急連絡先を記入していただいています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		会議を行い、職員間で行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を行い、記録を都度残しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		支援中にケガにつながる場合等、身体拘束が発生した場合は、都度報告を行い、記録に残しております。	